

高橋龍太郎コレクション連携企画

川端龍子 1 PLUS ONE

KANABATA RYUSHI

濱田樹里
谷保玲奈

色彩は踊り、
共鳴する

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1 ノロータール 050-5541-8600

Ryushi Memorial Museum

Kawabata Ryushi Plus One
Collaboration with the Takahashi Ryutaro Collection:
Hamada Juri & Taniho Reina Colors that Dance and Resonate

前期 | 濱田樹里 | 2023年10月21日(土) — 12月3日(日)

後期 | 谷保玲奈 | 12月9日(土) — 2024年1月28日(日)

First period (Hamada Juri) | Oct. 21 - Dec. 3, 2023 Second period (Taniho Reina) | Dec. 9, 2023 - Jan. 28, 2024

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)

休館 月曜日(1月8日(月・祝)は開館し、その翌日に休館)、年末年始(12月29日~1月3日)

入館料 一般300円、中学生以下150円

※65歳以上(要証明)、未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

主催 | (公財)大田区文化振興協会、日本経済新聞社

掲載画像

[前期展示]濱田樹里《創世譜〜歡喜〜》(部分) 2023年、高橋龍太郎コレクション蔵

撮影/末正真礼生 提供/コバヤシ画廊

川端龍子《渦潮》(部分) 1956年、大田区立龍子記念館蔵

[後期展示]谷保玲奈《ウブスナ》(部分) 2017年、高橋龍太郎コレクション蔵 ©taniho reina



えがくかなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会

川端龍子 1 PLUS ONE
KANABATA RYUSHI

濱田樹里 / 谷保玲奈

色彩は踊り、共鳴する

日本屈指の現代アートのコレクター・高橋龍太郎氏のコレクションを、龍子記念館において日本画家・川端龍子の作品とともに展示します。高橋氏の現在3,000点以上におよぶ日本の現代アートのコレクションは「高橋龍太郎コレクション」と呼ばれ、これまで国内外の様々な展覧会で紹介されてきました。本展は「川端龍子プラスワン」をテーマに、高橋龍太郎コレクションとの連携で、所蔵作品に現代の美術作家をプラスワンすることで、どのような共鳴を呼び起こせるかを試みた企画です。

前期に出品の濱田樹里は、インドネシアで幼少期を過ごした記憶から、その自然と大地に生命の源流を求めたダイナミックな作品を制作、本展では、反り立つ壁のような巨大な屏風作品《創世譜～歓喜～》(2023)、《創世譜》(2022)、幅16メートルを超える《碧の地の森から》(2015)を出品します。一方、後期に出品の谷保玲奈は、極彩色の植物や海洋生物のイメージが増殖、拡大していく作品を制作、本展では、大作《ウブスナ》(2017)や対の作品《共鳴／菟荷》(2018/2020)他、今回の展覧会に合わせた約4mの絹本新作などを展示予定です。

龍子の作品を新たな視点から眺めようとする本展において、生命の讃歌を描く2名の女性作家が、開館60年を迎えた龍子記念館に新たな彩りを加えます。



川端龍子《爆弾散華》

1945年、大田区立龍子記念館蔵



【後期展示】谷保玲奈《共鳴／菟荷》

2018/2020年、高橋龍太郎コレクション蔵 ©taniho reina



川端龍子《御来迎》

1957年、大田区立龍子記念館蔵

【前期展示】濱田樹里《碧の地の森から》

2015年、高橋龍太郎コレクション蔵 撮影 | 末正真礼生 提供 | コパヤシ画廊



開催情報

【前期】(濱田樹里) 2023年10月21日(土)～12月3日(日)

【後期】(谷保玲奈) 12月9日(土)～2024年1月28日(日)

関連イベント

ギャラリートーク (事前申込制)

開催日

【前期】10月29日(日)、11月26日(日)

【後期】12月17日(日)、1月21日(日)

各日11:30、13:00から(40分程度)

ギャラリートークについては、当館へお電話 (03-3772-0680)にてお申込みいただけます。

「川端龍子プラスワン」出品作家クロストーク

濱田樹里 × 谷保玲奈

11月3日(金・祝) 18:30～19:30

会場 | 龍子記念館 展示室内 定員 | 60名 (抽選)

締切 | 10月23日(月) 必着

お申込み方法

『往復はがき』または『FAX』でお申し込みください。「出品作家クロストーク」と明記し、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話・FAX番号、希望人数をご記入のうえ、下記へお送りください。当館ホームページからメールによるお申込みも可能です。

※1通につき2名様まで可、参加者氏名に2名分のお名前を明記してください。返信用はがきには代表の方の住所と氏名を、FAXでご応募は返信用のFAX番号をご記入ください。

後期展示 谷保玲奈による滞在制作

12月13日(水)～19日(火)

12月17日(日) 13:00～のギャラリートークの際に制作報告

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅を開館日に解説とともにご覧いただけます。

ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00から開門します。(30分程度)

Ryushi Garden Guided Tour 10:00, 11:00, 14:00～

当館へのアクセス

●JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番

「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分

●都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分



Ryushi Memorial Museum

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

Access | 4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024

TEL:050-5541-8600

- From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
- 15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours | 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission | Adults:300yen, Minors:150yen

Children under 6 and seniors over 65 are free

Closing Days | Mondays (except Jan. 8)

Dec. 29～Jan. 3, Jan. 9

大田区立龍子記念館

〒143-0024東京都大田区中央4-2-1

ハローダイヤル | 050-5541-8600

記念館直通 | 03-3772-0680

https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/

